

社会の穴を埋める派？ レッツ フラフラ派？ それとも…

先日の道徳地区公開講座の授業では、「「はたらく」を問い直そう。」がテーマでした。養老孟子さんと益川敏英さんの勤労観をヒントに、多くの人が自分の考えを広めることができました。

道徳の授業では、それぞれのテーマから様々なものの見方、考え方を知ること、自分の視野を少しずつ広げてもらいたいと思っています。そして今回もテーマに対して真剣に考え、しっかり意見を伝え合える1年生には感心するばかりです。この調子で、自分の世界をどんどん豊かにしていきましょう。

- ・仕事というのは、社会に空いた穴です。
- ・ともかく目の前の穴を埋める。それが仕事です。
- ・いったん引き受けたら半場仕事をしてはいけない。

養老孟司

あなたはどっち??



- ・我を忘れ情熱を傾けることに出会えること。
- ・努力することが楽しいと感じられる道を絶対に発見してください。
- ・レッツ フラフラ!

益川 敏英



みんなの広場



授業後の学習感想を紹介します。まずは1組です。10人の学習感想を紹介します

①はたらくとは 自分の好きなやり方で 社会に貢献すること

②はたらくとは誰かのためになって、自分も楽しければいいと思った。もし、仕事楽しくなかったら、『自分で楽しくできるように頑張ればいい』じゃないか。

③はたらくとは人生の内の、1つの道だと感じた。働くのも、働かないのも、1つの道だし、どのように働くかも1つの道。好きな道に進み、戻る勇気を持って取り組むことが大切だ。

④子どもの時の夢を持ち続ける事が大切だ

⑤これまでは「休みの日の楽しみを増すために働く」と思っていた。でも今は、「休日にしたいことをするという人生だけでなく、夢、あこがれを原動力に、自分から一歩踏み出せるような人になりたい」と思っている。

⑥私は授業前後で考えに変化はない。私は趣味を仕事にしたい。少し山ができるくらい全然かまわない。益川先生の意見で、より自分の考え、思いが強まった。

⑦フラフラし過ぎると逆に決められなくなるか？努力を楽しく感じられる道は無いと思う。つらさがないと、楽しさもないと思う。楽しいだけじゃ、つまらなくないか？

⑧好きな事を仕事にしたら、重荷になると言っていて、すごく賛成だ。好きな物を食べ過ぎたら嫌いになるのと同じだと思う。好きを仕事にせず、今、自分にやれることをするべきだ。

⑨益川先生の「フラフラ」とは、「色々な事に、たくさん挑戦して、体験する人になろう」と言っているのではないか。小、中、高、大とたくさん経験を積んだ後、働き、そこでこれまでの経験を生かす事になるのではないか。

⑩益川先生の意見は正直、少し甘いかな。フラフラしていれば、いい仕事が見つかるかと言えば、そうじゃない。養老先生の社会のためにという言葉の方が、方向性が決まってやりやすい。益川先生の意見は、自立心を持つ人にとっては大事だけど、心が未熟な私達にとっては、少し酷(こく)かな。

